

2023 年度「経済史入門」講義シラバス

小田中 直樹

今年度の経済史入門講義は小田中が担当します。じつは経済史入門を担当するのは4年ぶりなので、かなり不安もありますが、せっかくなので色々やってみながら、受講生諸君と一緒に勉強してゆきたいと思っています。このシラバスでは、講義の基本的な形態、成績の評価方法、そして講義の進め方の概略について説明します。

【1】講義の基本的な形態

(1) 進行方法

例年の傾向から予測して、200人程度が受講すると考えられます。なるべく双方向的な授業を設計したいのですが、今年は授業回数があまり多くありません。そこで、数回に一度ミニットペーパー（講義終了時に提出してもらいたい意見、質問、要望、感想、批判、その他いいたいこと）を作成して提出してもらって回答するとともに、掲示板を含むホームページを設けることによって対応したいと考えています。

(2) 講義の履修

講義中に認められないことは、他の履修者に迷惑をかけるような講義に無関係な**私語（電話を含む）**だけです。ともに、他の受講する皆さんに迷惑をかけるからです。この場合は即時に履修を放棄したとみなします。ちなみに、前々回2013年に担当したときに1件（2人）ありました。逆に、欠席、遅刻、早退、飲食、着帽、メール、昼寝などは、周囲に迷惑をかけない限りかまいません。

また、講義中、オフィスアワー（経済学部棟5階508号室、水曜日12時～13時）、掲示板、ミニットペーパーを利用した質問、批判、意見を歓迎します。

(3) 講義の目的

この講義の基本的な目標は、次の2点です。今年については、どちらかというと、あとのほうがメインになります。

- 経済史学とは何かを理解すること。
- 経済史を学ぶ際に有益と思われる経済学のモデルを理解すること。

(4) 教科書

自分が書いたもので恐縮ですが

■小田中直樹『ライブ・経済史入門』（勁草書房、2017）

を利用します。教科書に完全に準拠した授業をおこなうので、ゲットしておいてください。

なお、同書には「第1版第1刷」（2017）と「第1版第2刷」（2019）がありますが、「第1版第1刷」にはかなりの間違いがあります。「第1版第2刷」にする際に修正したので、生協書籍部には「第1版第2刷」を入荷するようお願いしておきました。しかし、出版社から「第1版第2刷」は100部しか残っていないという答えがあったそうです。もしも「第1版第1刷」を購入してしまった場合は、以下の授業ホームページ上に「訂正一覧」が載っているので、そちらを参照しながら修正しておいてください。

（5）その他

・シラバスをはじめとして、この講義に関する情報は、基本的にすべてウェブ上でも公表します。

<http://www2.econ.tohoku.ac.jp/~odanaka/intro23/index.html>

適宜チェックしておいてください。

また、ウェブ上に講義用掲示板を設置します。

<https://odanakalecture.hatenablog.com/>

休講その他の連絡には、基本的にこちらを利用しますので、こちらも適宜チェックしておいてください。

・質問がある場合は、遠慮なくメール（naokiodanaka@jcom.zaq.ne.jp）や電話（022-795-6280）で寄せてください。

・ミニットペーパーや授業評価アンケートを提出してもらいますが、これらの提出物の目標はぼくの授業の内容を改善することですから、いうまでもなく、内容は一切評価の対象にはしません。好きなことを書いてください。

【2】履修と成績評価

（1）成績評価

・**最終試験（100点）のみで評価します。**

・**最終試験は1月26日の理解度確認セッション期間におこないます。**試験時間は60分で、問題はその場で発表します。教科書と自筆ノートのみ持込を認めます。電子デバイスでノータリングする場合は、通信機能を切ってください。これ以外（とくに他人のノートのコピー）を持ち込んだ場合やデバイスの通信機能を切っていない場合は履修放棄とみなします。

【3】スケジュール概略

第1回 ガイダンス (10月6日)

はじめに／経済史学とはなにか (作業) /シラバスの説明 (講義のすすめかた)

第2回 狩猟採集経済 (10月13日) 教科書第1章の前半

はじめに／生産者行動理論／おわりに

第3回 狩猟採集経済 (10月20日) 教科書第1章の後半

はじめに／コモンズの悲劇／おわりに

○10月27日は大学祭で休講です。

第4回 農耕革命 (10月31日 火曜日ですが金曜日の授業をする日) 教科書第2章

はじめに／農耕革命のモデル化／モラルエコノミー／おわりに

○11月3日は文化の日 (祝日) で休講です。

第5回 ファミリービジネス (11月10日) 教科書第3章

はじめに／消費者行動理論／主体均衡論／おわりに

○11月17日は海外出張のため休講です。

第6回 資本主義 (11月24日) 教科書第4章

はじめに／労働市場のメカニズム／無制限労働供給モデル／おわりに

第7回 小作制度と問屋制度 (12月1日) 教科書第5章

はじめに／生産管理機能のアウトソーシング／小作制度のモデル化／問屋制度のモデル化／おわりに

第8回 産業革命 (12月8日) 教科書第6章

はじめに／マルサスの罠／ソローモデル

○12月15日は海外出張のため休講です。

第9回 産業革命・その2 (12月22日) 教科書第6章 (続)

続・ソローモデル／おわりに

第10回 企業 (12月27日 水曜日ですが金曜日の授業をする日)

予備日

第11回 企業（1月5日） 教科書第7章

はじめに／中小企業の意味決定／独占企業

第12回 企業・その2（1月12日） 教科書第7章（続）

続・独占企業／顕示的消費／おわりに

第13回 経済史学の定義と方法論（1月19日） 教科書序章

はじめに／定義／方法論／手続き／おわりに

第14回 最終試験（1月26日）